

子ども達をインフルエンザ脳症から守ろう

～ 新型インフルエンザを正しく知って、正しく恐れる。そして正しい行動を起こすために。～

1. インフルエンザ脳症はどんな病気？

インフルエンザ脳症は、インフルエンザに罹ったことをきっかけにして生じる脳症です。意識障害、けいれん、麻痺(手足が動かない)、嘔吐、異常行動といったものが見られます。

季節性インフルエンザで1年間に100～300人(全国)がこの病気に罹っています。

2. インフルエンザ脳症の症状は？

主な症状は、けいれん、意味不明な言動、急速に進行する意識障害です。

3. 意識障害って何ですか？

眠ったようになってしまい、呼びかけや痛みに対する刺激にも目が覚めないような状態をいいます。軽い意識障害の場合は、何となくボーッとしたり、すぐにウトウトするようなこともあります。最も重要な症状で、明らかな意識障害が見られた場合は、施設の整った医療機関に早期に受診することが重要です。

新型インフルエンザに感染してインフルエンザ脳症にかかるのは、これまでの季節性に比べて、年齢が7～9歳とやや高い事、発熱してから重症化する時間が更に短い傾向にあると言われていますが、まだ、詳しいことはわかっていません。



4. 異常行動って何ですか？

両親が分からない、いない人をいると言う。(人を正しく認識できない) 自分の手を噛む、何でも口に入れてしまう。アニメキャラクター、ライオン等が見えるなど、幻視、幻覚を訴える。意味不明な言葉を発する、ろれつが回らない。おびえる、恐怖(こわい)の訴えやその表情。急に怒り出す、泣き出す、大声で歌い出す。このような症状は、熱が上がってから直ぐに出現することが多く見られません。

5. 解熱剤で脳症が悪化することがあるのですか？

強い解熱剤(例:ボルタレン、ポンタール等と同じ成分の入っているもの)は、インフルエンザ脳症を悪化させるため、もし、これらの薬が手元にあった場合も使わないでください。現在では、インフルエンザに使用される解熱剤は、アセトアミノフェンが主流です。解熱剤の使用は、必ずかかりつけ医に相談してください。

6. どんな症状の時には医療機関に受診する必要がありますか？

インフルエンザ様症状(発熱等)に加えて、呼びかけに答えられないなど意識レベルの低下が見られる。けいれんを繰り返す、けいれん後の意識障害が持続する。意味不明な言動が見られる。このような症状が出現した場合は、速やかに受診してください。

7. インフルエンザ脳症を予防するためにはどうすればいいですか？

まずは、インフルエンザにかからないことです。十分な睡眠、栄養をとり体力・抵抗力を付けましょう。咳エチケット、うがい・手洗いを確実にしましょう。